

第1回信州なががわハーフマラソン

取組に至る背景・事業の目的

- 中川村ランナーズクラブでは、「中川ウォーク・マラソン大会」を25回開催していたが、出場者が年々減少傾向にあり、マンネリに陥っていたことから、村制施行50周年に併せ、住民が主体となって村の活性化に寄与しようとハーフマラソン大会を企画した。
- 子どもから高齢者まで気軽に参加できるニーズの高いハーフマラソン大会とすることで参加者の健康増進を図るとともに、親子のふれあいの機会の提供やスポーツに慣れ親しむことにより青少年の健全育成にも役立てる。

事業内容

- 上伊那管内では初のハーフマラソン大会（5月5日）
- コースは、行楽的な要素も盛り込み出来る限り村内の景観を生かした設定とした。
- 第1回の記念大会としてゲストランナーに弘山晴美さんを招待した。

事業効果

- 「中川ウォーク・マラソン大会」をリニューアルし「第1回信州なががわハーフマラソン」として開催したが、目標を大きく上回る885人が参加。第2回は1,638人が参加と増加した。
- 月刊ランナーズの企画で、2009年開催大会の参加者評価では、589大会中7位の評価を得た。
- 村民が、ボランティアスタッフ、地元産物の出店、吹奏楽や伝統芸能でのもてなし、沿道での応援等、多方面に渡り今大会の協力者として参加。運営に参加することで大会を楽しんだり、充実感を得たり、ランナーとの交流や自分たちもやればできるという意識を持っていただくことができた。
- 多くの参加者が地元物産販売テント等に立寄り、土産品を買われるなど地元業者への経済効果があった。また、参加賞として村内の入浴施設の割引チケットを用意したが、参加した多くの方に利用してもらうことができ波及効果もあった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 参加者にアンケート調査を行ったところ、もてなし面での好評価をいただいたことは第2回大会に向けて弾みがついた。また、参加者が気になった点などを次回大会への検討課題として、できる限り改善を図りたい。
- 第2回の大会に向けて、小中学校の児童生徒及び保護者への指導・啓発、村内での秋のウォーキングイベントに協力する中で、走ることの意識啓発活動にも取り組んでいきたい。

【選定のポイント】

村内有志とボランティアが協働し、様々なサービスと「おもてなしの心」で温かみのある大会となり、小さな過疎の村で開催するスポーツ観光イベントとしてモデル性が高い。



【ゴール地点】

団体名	中川ランナーズクラブ（中川村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 電話 0265-88-3260	事業費	4,974,612円
ホームページ		支援金額	2,678,000円
	http://park3.wakwak.com/~shinano_taiki/halfmara.htm		
	メールアドレス shinano_taiki@aq.wakwak.com		